

平成18年1月24日

「放送を語る会」事務局 小滝一志様

日本放送協会経営委員会
委員長 石原 邦夫

「公開質問書」に対する回答について

前略、貴殿より、小職ならびに、NHK 経営委員会各委員あてに頂きました、平成18年1月10日付けの「公開質問書」につきまして、以下のとおり、経営委員会としての考え方を、申し述べさせていただきます。

既に、さまざまな機会に申し上げてきたことではありますが、経営委員会としては、NHKは報道機関として、常に放送法の理念に立ち返り、当然のことながら、番組制作についても自主・自律・公平性・公正性を堅持することが何より大切であると認識しております。

そうした中で、最も重要なのは、NHKの役職員一人ひとりが、番組や日常の担当業務を通じ、視聴者の皆様に、ご指摘のような疑念・誤解を抱かせることがないように、日々の実践・行動を積み重ねていくことであり、常に自らの行動について視聴者の皆様にご納得頂けるよう分かりやすくご説明していくことであると考えております。

ご質問の中にある、会長以下執行部の記者会見や国会等における発言内容も、このような考え方を踏まえたものである、と理解しております。

また、今般発表された、「平成18年度～20年度NHK経営計画」においても、NHKとして、放送の自主・自律を堅持することが改めて明記されておりますが、経営委員会としては、今後も引き続き、上記のスタンスで、NHKの活動を、監視・監督していく所存です。

なお、ご質問の中にある、事実関係につきましては、ご高承のとおり、現在、東京高等裁判所で審議中の案件となっており、私ども経営委員会としても、その動向を注意深く見守っているところであります。

以上が、経営委員会としての考え方であります。

私ども経営委員会といたしましても、今のNHKの置かれている厳しい状況に思いを致し、一刻も早く視聴者の皆様からの信頼を回復し、新生NHKの構築に向け、諸改革を実現するよう、自らの重い職責を、しっかり全うしてまいりたい、と考えております。

何卒ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

草々